

## 公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和3年10月20日

施設名	高知県立埋蔵文化財センター	所管課	高知県教育委員会文化財課
-----	---------------	-----	--------------

## 1 施設の概要

指定管理者名	公益財団法人高知県文化財団	指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
施設所在地	南国市篠原1437-1		
事業内容	○施設管理(埋蔵文化財保護の中核施設として最適な施設管理を行う) ○出土文化財等資料管理(出土遺物を適切に保管・管理し県内外からの依頼に応じて貸出等を行う) ○広報普及(発掘調査成果及び出土文化財を広く県民に公開することにより埋蔵文化財に対する保護の推進と普及啓発を図る)		
施設内容	○面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など 面積:本館(1,038.68㎡) 北館(518.40㎡) 南館(1,045.92㎡) 収蔵庫(1,527.52㎡) 展示室(51.63㎡) 開館時間:午前9時～午後5時 休館日:土・日・祝祭日、12月29日～1月3日 (巡回展の期間中、公開講座等開催日の日・祝祭日は開館) 利用料金:無料		
職員体制	常勤職員: 5名		

## 2 収支の状況

単位:千円

		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
収入	県支出金	40,450	39,016	47,626
	補助金等収入	1,800	1,672	
	その他	394	233	48
	収入計 (a)	42,644	40,921	47,674
支出	事業費	9,852	8,927	8,426
	管理運営費	13,711	14,174	14,397
	人件費	19,081	17,820	24,851
	その他	0	0	
	支出計 (b)	42,644	40,921	47,674
収支差額 (a)-(b)		0	0	0

3 利用状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	4,968	3,915	3,700
②利用者意見等の反映	<p>○利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)            展示企画や関連行事、公開講座への参加者に対しその都度アンケートを実施することで意見や感想の収集及びニーズの把握に努めた。            回答数3,481(館外での講座を含む)</p> <p>○利用者意見等を踏まえた対策            ・アンケート結果を当該年度事業の各種講座等の企画を立案する際に参考とした。一例として、実際の土器や石器に触れることができるコーナーを設置したり子ども達の来館が集中する夏の時期に分かりやすく子ども用に展示解説を行った。</p> <p>○その他(以下は、アンケートの一部)            ・小学校6年生です。学校で教えてもらったときに写真でしか写っていないものが生で見られて良かった。            ・係員の方にとっても丁寧にご案内いただき初めてでしたが楽しく拝見しました。展示内容は、とても興味深いのですがもう少し分かりやすいと初心者でもより楽しめるかと思いました。            ・(シンポジウムに)コロナ対策もきちんとしており安心して参加できました。            ・先着100名の受付が終了した時点で参加決定の案内を改めて出して欲しかった。            ・頑張って展示室を広げてもらいたい(有料も可)。駐車場が拡張できれば良いですね。            ・地元の遺跡を初めて観てとても面白かった。たくさんの遺跡がこんな身近にあったなんて知らずにいました。            ・貴重な遺物を実際に目にでき、しかも感触を味わうことができた。五感を通して学べたことは本当に有難かった。土器の継ぎの部分や打製の割れ目等がリアルで子どもたちの自由研究につながるのではないかと思った。            ・土佐の古代の文化が思ったより高度で豊かであったことを知り嬉しく思った。</p>		
③その他特記事項	新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため4/10～5/10(31日間)臨時休館		
4 令和2年度業務評価			
項目	状況説明		
①適正な管理運営の確保	<p>○協定書、事業計画書の内容に従って概ね適正な管理が行われた。            ○新型コロナウイルス感染症拡大防止対策は概ね適正に行われていた。            ○有事を想定し消防計画を基に訓練を実施し利用者の安全確保に努めた。            ○職員による敷地内の除草作業や館内の日常的な環境維持を努めていたが、一方で、事業所が排出する廃棄物の一部を産業廃棄物として分別すべきところを一般廃棄物として誤った処理を行っていた。</p>		
②利用者サービスの維持向上	<p>○講座の一部(動画)や特別展で配布した記念誌をホームページ上で公開。            ○埋蔵文化財センターの特質である発掘調査成果を踏まえた専門性の高い講座の開催で、考古学に興味が高いリピーターへの対応と、本館の空きスペースを活用し、楽しみながら遺跡や考古学、高知県の歴史が学べるよう来館者に対して埋蔵文化財への理解を深められる対応を心掛けていた。</p>		
③利用実績	<p>○新型コロナウイルス感染症拡大防止対策で休館した際には、できる限りの日程調整や開館日に中止した講座内容等の体験や、ホームページで講座に関する動画を配信した。なお、開館に際して十分な防止対策を講じていた。            ○実物の土器等を「見て」「触れる」機会を提供する出前考古学教室について、実施した53校では考古学や歴史への興味・関心を引き起こす切っ掛け作りになったと好評で、広報普及事業の中心として捉えている。            ○土佐市の複合施設を利用した地域展は、周辺遺跡の発掘調査成果を展示解説による紹介、また、ワークショップ、講演会、公開講座等の関連行事を行い、地域の歴史に対する興味と関心を高めるための取組の一つとして地元教育委員会と連携し開催した。            ○出土遺物の貸出を展示関係として、県内博物館や教育委員会の9件と県外博物館に1件、資料調査のために研究機関等から20件の依頼があった。</p>		
④収支の状況			
総合評価	B	<p>○清掃等による施設館内の維持管理は概ね適正に実施できていた。            ○廃棄物の排出事業者として適正な処理に関する認識が不十分であったことが法令違反の原因であり、他の業務内容についても再確認と検証し改めて違反遵守の徹底と再発防止の策を講じる必要がある。            ○地道な活動を通して入館者確保を努めその成果は見られたが、更に利用者目線を意識したサービスを努めていく事が重要である。            ○テーマ設定に基づく展示企画とそれと関連する講演会やシンポジウム等の内容を精選と充実を図り利用者から好評であった。            ○埋蔵文化財への理解と保護を目指し、ホームページによる情報発信と各種企画展、公開講座の実施、また、出土遺物の実物に触れる機会を設ける等のセンターの特色を活用し、知名度アップと考古学に対する関心の高まりを引き出す事業の実施に努めていた。</p>	

- 【評価の目安】
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
  - B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
  - C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
  - D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの